

タリバン暫定政権に注目が集うアフガン情勢

ポイント① タリバン暫定政権が樹立

アフガニスタンでは、武装勢力のタリバンが首都カブールを制圧し、事実上の復権を果たしてから1ヵ月以上が経過しています。タリバンは前回政権時、女性の人権侵害など、イスラムの教えを極端に厳しく解釈した恐怖政治を展開し、国際社会から強い非難を受けてきました。9月初旬に発足した暫定政権は、イスラム法の範囲内で女性の人権を尊重する姿勢を示したものの、同月12日には大学の男女共学制を廃止するなど、既に前回政権を彷彿とさせる統治を開始し、国内外で懸念が高まっています。

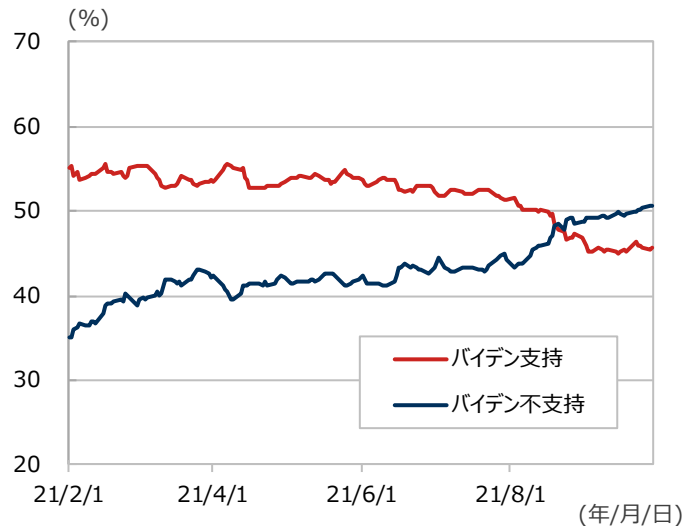
ポイント② 米軍撤退でバイデン支持率下落

タリバン復権の背景には、米軍の撤退が大きく影響しています。米軍が撤退すれば、タリバンの攻勢でアフガン政府が崩壊する可能性が以前より指摘されていましたが、米バイデン大統領はタリバンが支配を拡大する状況下でも撤退を急いだため、結果としてタリバンの復権を助長してしまいました。同事態を受け、米国内では、バイデン大統領の支持率が低下しています。来年に米中間選挙を控えた中での支持率低下は、政策を円滑に進める上での障壁となり、米国経済に影響を与えることもありそうです。

ポイント③ 市場への影響は現時点では軽微

また欧米では、タリバンが国際テロ組織アルカイダと親密であることから、今後アフガニスタンがテロ活動の温床となる可能性を危惧しています。現時点では、アフガン問題の市場への影響は軽微なものとなっていますが、タリバン政権に友好的な姿勢を見せる中国の介入を同政権が容認した場合、国際情勢が不安定化しかねないとの見方もあり、ひとまずは新政権の動向を注意深く見守る必要があります。

米バイデン政権の支持率の推移



期間：2021年2月1日～2021年9月28日、日次
Real Clear Politicsによる支持率調査
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

S&P500株価指数と米10年債利回りの推移



期間：2021年2月1日～2021年9月28日、日次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

**重要
イベント**

- 10月8日 米雇用統計 (9月)
- 10月15日 米ミシガン大学消費者信頼感指数 (10月)